

## 学校教育に関するアンケートの結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
さて、「学校教育に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。  
(配付数166枚、回答数123枚、回収率74%) 老松小の教育活動について、温かい視点で見守っていただいているご意見と同時に、建設的なご意見も多数いただきました。また、老松小学校の教育に寄せる期待の大きさを改めて感じました。ここに、その集計結果と学校の考えをお知らせします。

※表の数値（左4つ）の単位は%

※平均は「はい」…4 「どちらかといえばはい」…3 「どちらかといえばいいえ」…2 「いいえ」…1として算出

## 3. 2以上で「概ね満足」と設定

1 学校努力点	はい	どちらか といえば はい	どちらか といえば いいえ	いいえ	平均
児童 話し合う授業は楽しい	61	34	4	1	3.5
児童 発表できるようになってきた	36	34	21	9	3.0
児童 友達にほめられて、考えに自信をもった(4~6年)	26	55	14	5	3.0
児童 友達の意見を聞いて、考えが変わった(4~6年)	56	33	11	0	3.5
児童 話し合いを通して、友達の考えのよさに気付いた(4~6年)	60	39	1	0	3.6
児童 友達を大切にしたり、仲よく遊んだりできる	75	21	3	1	3.7
保護者 目標に基づき、実践をしている	61	36	2	1	3.6
職員 目標に基づき、実践をしている	62	38	0	0	3.6

本年度は、話し合い活動を通して、児童が自他を尊重し、友達と認め合うことができるように教育活動を行ってきました。その結果、多くの児童が友達の話をよく聴き、自分の考えを深めたり、友達の考えのよさに気付いたりすることができました。目指す姿の一つである、友達を大切にしたり、仲よく遊んだりすることができる児童が多いことは、学校努力点として全職員で取り組んできた成果であると考えます。一方、自分の考えを発表したり、それを友達にほめられて自信をもったりする機会が少ない児童もいることが課題です。今後も引き続き、考えをもったり、発表したりできるように支援をしていきます。

## ＜保護者の声から＞

- 友達の事をとても大切にしている様子がうかがえます。これは、自分を大切にできているとも言えます。学校努力目標は、とてもすばらしい内容であると思いました。認め合うこと大切ですね。
- 以前、手を挙げて感想を述べ合う姿に心より感心し、頼もしく思いました。いろいろな子がいるからこそ、言葉にして伝え合う、認め合う事が大切ですよ。学校をあげて、そういう環境、雰囲気作りに励んでくださっていることがよく分かります。

- 学校が個人を尊重して、自他を認める心の育成をしていることに感謝をしています。
- 自他を尊重し、認め合うとありますが、具体的には、どのような活動を通して子どもたちに理解をさせていくのでしょうか。どんな大人でも、良い所、悪い所のバランスを取りながら生活していると思います。子どもたちも、良い所をほめ合いながら伸ばしていく事も大事ですが、うまくできない所も認め合い、フォローしたり、「そういう所あるよね」と指摘し合えるような対等な関係性を築けられるようになってほしいと思います。
- 友達と意見を出し合ったり、助け合ったりしながら学校生活を送っていること、子ども同士で意見が衝突しても、フォローしてくれる先生がいることが、子どもの話から伝わっています。

→ 児童の様子を感じ取り、評価いただき、ありがとうございます。小学校教育ですので、互いのよいところを見つけ、ほめ合うことを基本としていますが、相手の苦手なことも認めて、アイデアを出しながら助け合うことも同じように大切にして教育活動を行っています。「誰でも、よいところがあるし、苦手なこともある」と認め合うことは、人権感覚を育てるためにも大切にしたいことです。



2 分かる授業		はい	どちらか といえば はい	どちらか といえば いいえ	いいえ	平均
児童	学校の授業が分かる	46	43	8	3	3.3
保護者	分かる授業づくりを熱心に行っている	62	35	3	0	3.6
職員	分かる授業づくりを熱心に行っている	75	25	0	0	3.8

9割近くの児童が「学校の授業が分かる」と回答しました。このことは、日頃から基礎・基本を大切にして、分かる授業づくりを熱心に行ってきた成果だと捉えます。しかし、基礎・基本が十分身に付いていない児童もいます。分からなくても頑張る姿が多く見られますので、指導方法や指導形態を工夫して、一人一人の学力を高めていきたいです。ご家庭では、家庭学習が習慣となるよう、頑張りをほめる、一緒に宿題をするなど、引き続きご協力をお願いします。



#### <保護者の声から>

- 先生の授業は「分かりやすい」と言っています。家で宿題などを見ると、できていない部分が目立ちますが、先生がほめてくれる事が力になっている事をうれしそうに話しています。
- 授業が分からなくてついていけないということはなく、分かる時は手を挙げて答えるようになったので、成長を感じます。

→ 教師の声掛けが子どもの励みになっていることは、とてもうれしく思います。子ども同士だけではなく、教師が積極的に子どもをほめるようにしています。自分の考えを伝えることも大切なので、このような声を聞かせていただき、ありがとうございます。

3 教育相談		はい	どちらか といえは はい	どちらか といえは いいえ	いいえ	平均
児童	困ったことは、先生に相談しやすい	37	40	16	7	3.1
保護者	親身に相談に応じている	65	30	3	2	3.6
職員	親身に相談に応じている	75	25	0	0	3.8

学校は、児童の相談に親身に応じるよう心掛け、連絡帳、電話、メール、時には家庭訪問などで保護者の皆さんと連絡を密に取り合うよう努めています。困ったことがあればすぐに先生に相談するという児童が多いです。しかし、中には、困ったことを先生に相談しないという児童もいます。そのような児童もいるので、本校は、夏季休業前後と2学期末の年3回の教育相談週間を設定して、児童アンケートの結果を基に声掛けをしています。また、毎月1回、児童の情報を共有する会を開いたりして、全員で児童の相談に応じる体制づくりに努めています。今後も、児童が相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、日頃から職員が児童の様子をよく見て、全ての児童に働きかけていけるようにしていきます。

#### <保護者の声から>

- いつもお世話になっています。細かい事にも配慮いただいて、ありがたく思っています。ありがとうございます。
  - 懇談会はもちろん、行事で学校に行った際、話し掛けてきてくれ、子どもの様子を教えてくださいます。いつも親身になってくれていると子ども親も感じています。ありがとうございます。
  - 養護の先生が子どもたちの顔と名前、性格や学校での様子をしっかり覚えてくださるのも本当にありがたく安心感があります。
  - 問題が起こっても、担任の先生は、子どもの声を聞き、親の気持ちを受け止め、解決に向け必死で動いてくれました。老松小学校の先生方は、子どもにすごく寄り添ってくれます。本当にいい学校だと思います。
- 児童や保護者の皆さんの気持ちに寄り添うことができるよう努めていることを評価していただき、ありがとうございます。

4 楽しい学校		はい	どちらか といえは はい	どちらか といえは いいえ	いいえ	平均
児童	学校生活は楽しい	63	27	7	3	3.5
保護者	学校へ楽しく通っている	72	23	5	0	3.7
職員	学校へ楽しく通っている	44	56	0	0	3.4

9割の児童が、楽しく学校に通うことができます。学校は、一生懸命学び、仲よく遊ぶ児童の笑顔でいっぱいだと感じます。しかし、1割の児童が楽しく学校に通えていないということは、とても残念なことです。今後も、学習や生活で楽しく活動することができるように、そして、学校、学級が安心して過ごせる場所であるように、全職員で努めていきます。



<保護者の声から>

- 学校へ行くことや授業、給食、クラスの子たちとの関わりに前向きな気持ちで取り組んでいることが伝わっています。いつもありがとうございます。
  - 楽しく学校に通い、毎日お友達との出来事を話してくれます。そのため、学校の様子や子どもの気持ちを感じることができて安心してしています。
  - 毎日、学校楽しいと通っています。時々、今日苦手な授業があるから嫌だなと言いながらも、きちんと行くことができている、とても良いと思います。
  - 落ち込む時もたまにありますが、学校が大好き、友達大好き、先生大好きと言っています。勉強は苦手だけど、逃げずに頑張ってくれています。
  - 先生方が、いつも寄り添ってくださっているので、とても安心して学校生活が送れていると思います。これからも、勉強ももちろんですが、友達と元気に遊び、のびのびとした学校生活が送れるよう、私たちもフォローしていきたいと思います。
- ご理解、ご協力、ありがとうございます。

5 情報発信		はい	どちらか といえは はい	どちらか といえは いいえ	いいえ	平均
保護者	学校の様子を詳しく知らせている	53	33	14	0	3.4
職員	学校の様子を詳しく知らせている	38	56	6	0	3.3

本年度は、新型コロナウイルスの影響で、授業参観や行事で学校に来て様子を観ていただく機会が少なくなっていました。学校の様子をお伝えできるように、学校だより「まつば」や学年だより、ホームページ、メールなどを通じて、今後も情報発信に努めていきます。

<保護者の声から>

- 年間予定があり、行事の際に何とか仕事の休みが取れています。分からないことは学校に電話して対応していただいています。ありがとうございます。
- 行事への参加ありがとうございます。分からないことがあれば学校に連絡していただけることも、ありがたいです。
- コロナ渦で、保護者が日々の様子を垣間見る貴重な機会が無くなってしまい、分かる事と分からない事の差が大きくなったように感じます。ホームページ上での掲示・閲覧では一方向からの内容が強いので、保護者側には伝わりにくいかもしれません。一意見として、児童が内容をつくり上げる所があってもよいのかと思います。
- ホームページの内容に、児童がつくり上げるものを取り入れるというご意見、ありがとうございます。ホームページの内容を充実させるために、参考にさせていただきます。
- 学校ホームページの更新が遅延しているように思います。手元にまつば・学級だよりがなく確認したい時に更新されていないことがあります。今の時代、ホームページの活用をもっと積極的にしていただけると嬉しいです。
- 申し訳ございません。皆さんに役立つホームページとなるよう、積極的に活用していきます。

- 学校・学年だよりの写真がモノクロ、画質が悪い等で内容が分かりにくいことがあります。きずなネットで配信できないでしょうか。
  - 今年度も、様々な行事、校外学習を企画し行っていただいたかと思いますが、その際撮った写真を何らかの形で共有できたらいいと思いました。難しいとは思いますが、学校へ行く機会がなかなかないので、ご検討をよろしくお願いいたします。
- 学校・学年だよりは、ホームページにカラーで掲載していますので、ご覧いただきたいです。

6 挨拶・礼儀		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	平均
児童	元気よく挨拶している	37	43	16	4	3.1
保護者	挨拶をして、礼儀正しくなった	49	38	12	1	3.4
職員	挨拶をして、礼儀正しくなった	25	56	19	0	3.1

挨拶は、毎年重視して指導にあたっています。今後も継続的な指導、声掛けが必要だと思いますが、挨拶をしっかりできる子どもが増えてきています。

#### <保護者の声から>

- 老松公園に行くと、同じクラスの子や他学年の子どもたちが、いつもきちんと挨拶をしてくれて、学校でのことなどを話してくれます。老松小学校に通いだしてから、同じマンションや公園で会う人にも進んで挨拶をする姿を目にするようになりました。
  - なぜ挨拶が必要なのか、なぜ礼儀が必要なのかを学校でも教えていただけたらと思います。
- すてきな実態を伝えていただき、ありがとうございます。挨拶や礼儀の重要性について、繰り返し指導をしていきたいです。

#### 7 保護者のその他の声から

- 日常生活の中で、周囲への挨拶の言動や、学校での出来事、友達の近況などを本人から聞くことが多く「学校の取り組み」がうまくいっている、成果が出ていることを実感する機会がありました。取り組みの成果が見て取れるのは安心と感謝を覚える瞬間です。
  - 次の学年へのステップアップのために、それぞれの子どもに目標をもたせ、それを達成するためにはどうしたらよいかという考え方（例えば、時間の使い方）を教えてあげてほしい。
  - 毎日ランドセルが重そうです。宿題で使う教科書以外は、学校に置かせるようにしたいと思うことがあります。
- 貴重なご意見ありがとうございます。今後の指導に生かしていきたいと思えます。学校に置いていく学習用品については、学習者用タブレットの持ち帰りを含め、検討しています。

今後も児童のよりよい成長と、本校の一層の発展のため、お力添えをお願いします。なお、このアンケート結果のお知らせについては、本校のホームページ上にも掲載しますので、ご覧ください。